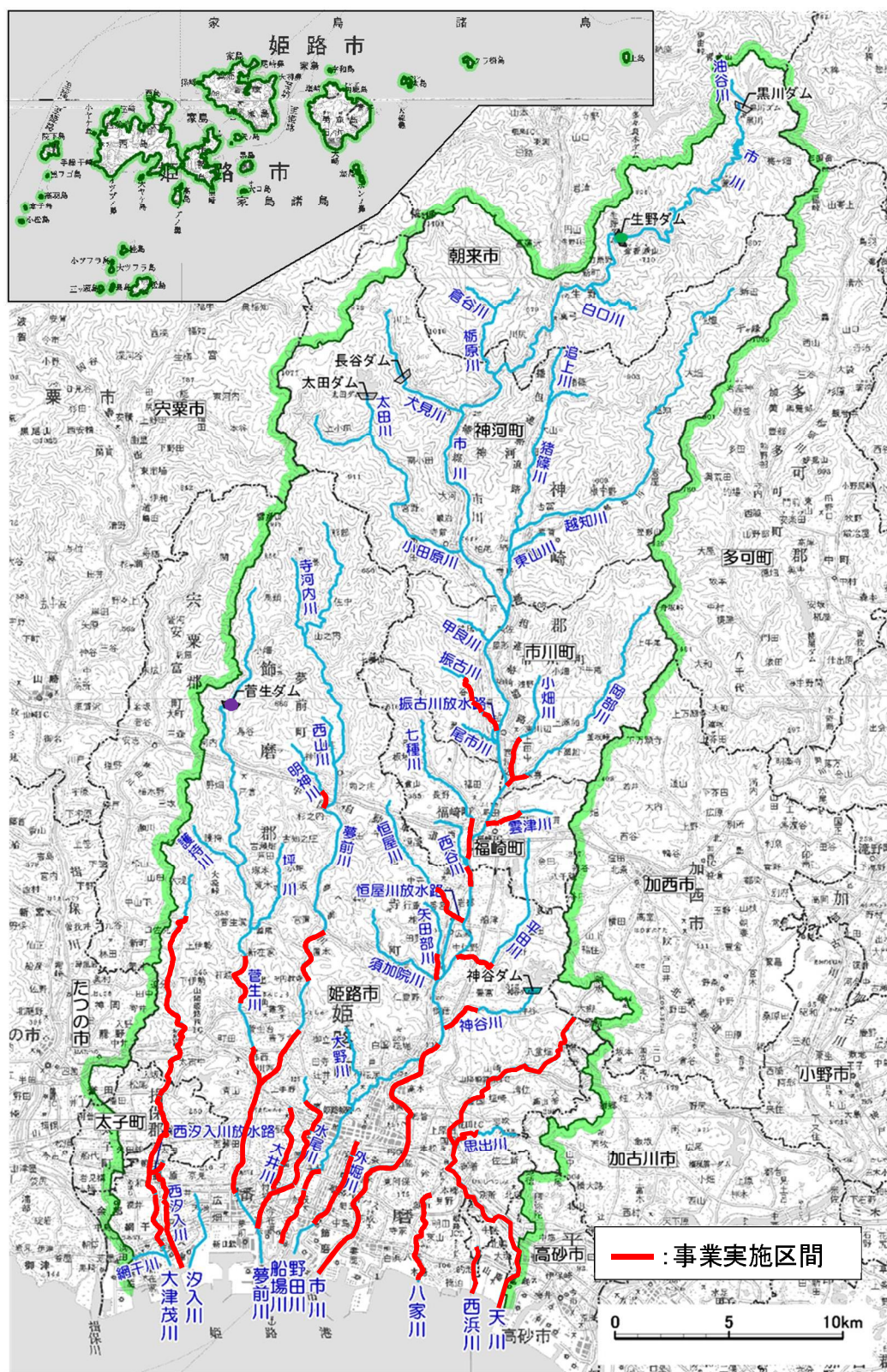


1-3. 河川・下水道の整備状況と課題

(1) 流域の河川

① 河川の整備状況



既往の治水事業

【天川水系】

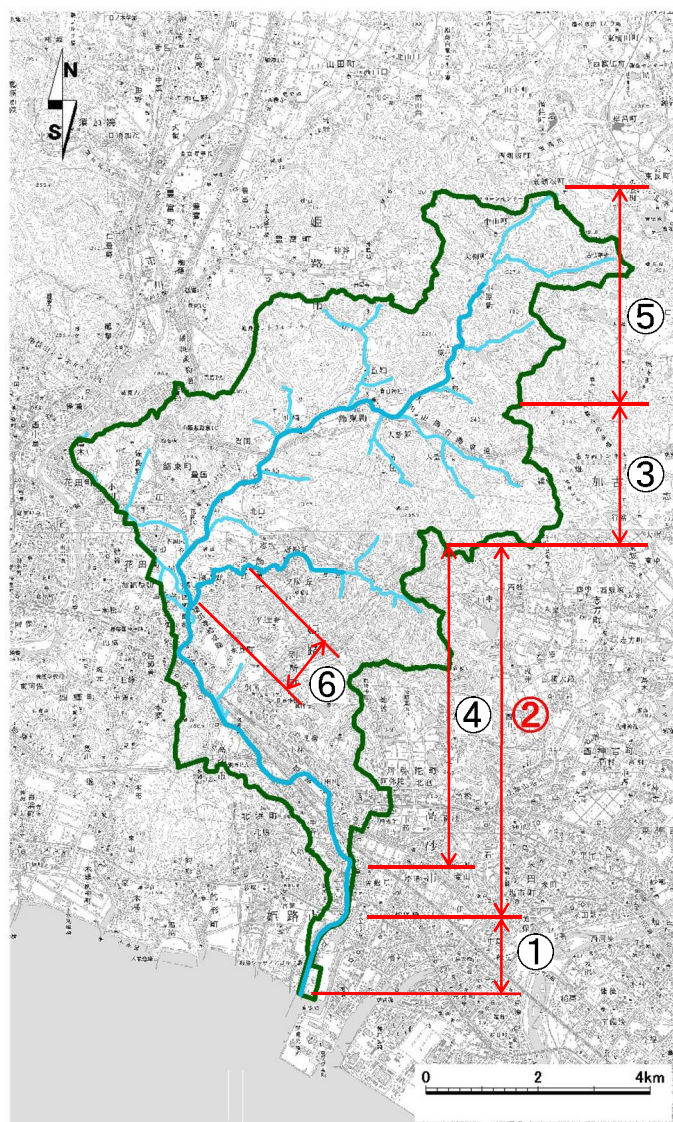
天川では、昭和 43 年度より、高潮対策事業や小規模河川改良事業、河川激甚災害対策特別緊急事業、災害復旧助成事業、災害復旧関連事業を実施した。

思出川では、昭和 51 年度より災害復旧関連事業を実施した。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
天川	①播磨高潮対策事業	□3～完	区間：河口～住吉橋
	②河川激甚災害対策特別緊急整備事業	□31～完	区間：住吉橋～上田原川合流点
	③災害復旧助成事業	□31～完	区間：上田原川合流点～新川橋
	④小規模河川改良事業	□3□～完	区間：市境地先～上田原川合流点
	⑤災害復旧関連事業	□2～完	区間：新川橋～市境C加西市C地先
思出川	⑥災害復旧関連事業	□31～完	区間：天川合流点～思出橋

出典：姫路土木事務所提供資料



天川水系 治水事業位置図

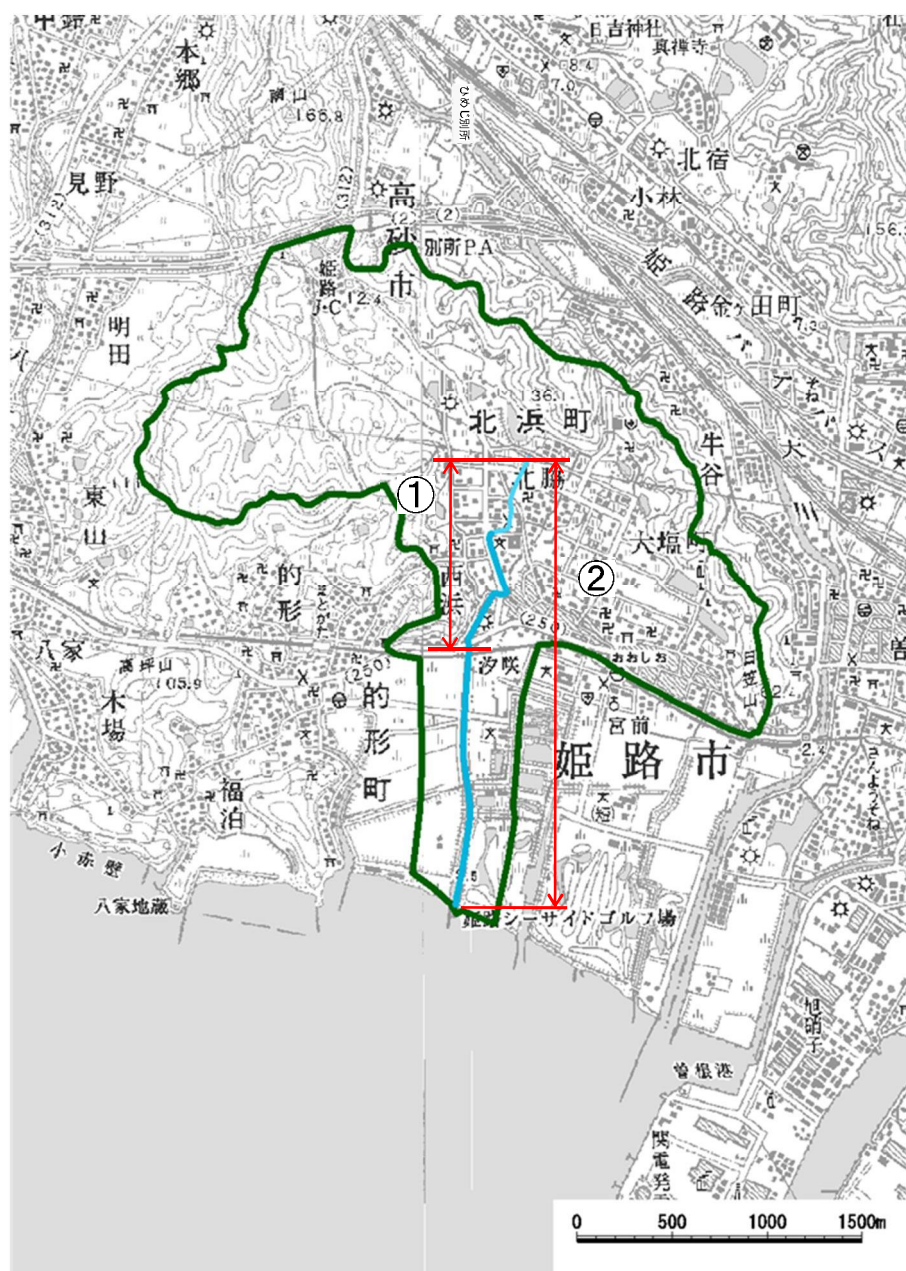
【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年の洪水で、流域の大部分が浸水したことから、昭和 51 年度から昭和 55 年度にかけて河川激甚災害対策緊急整備事業を実施した。また、昭和 5〇年度より播磨高潮対策事業を実施した。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
西浜川	①河川激甚災害対策特別緊急整備事業	昭51～昭55	区間：山陽電鉄～北浜橋 延長：〇〇〇〇〇〇 内容：堤防、護岸、掘削
	②播磨高潮対策事業	昭52～昭55	区間：河口～北浜橋 延長：〇〇〇〇〇〇 内容：防潮水門、排水機場、護岸、掘削

出典：西浜川水系河川整備基本方針



西浜川水系 治水事業位置図

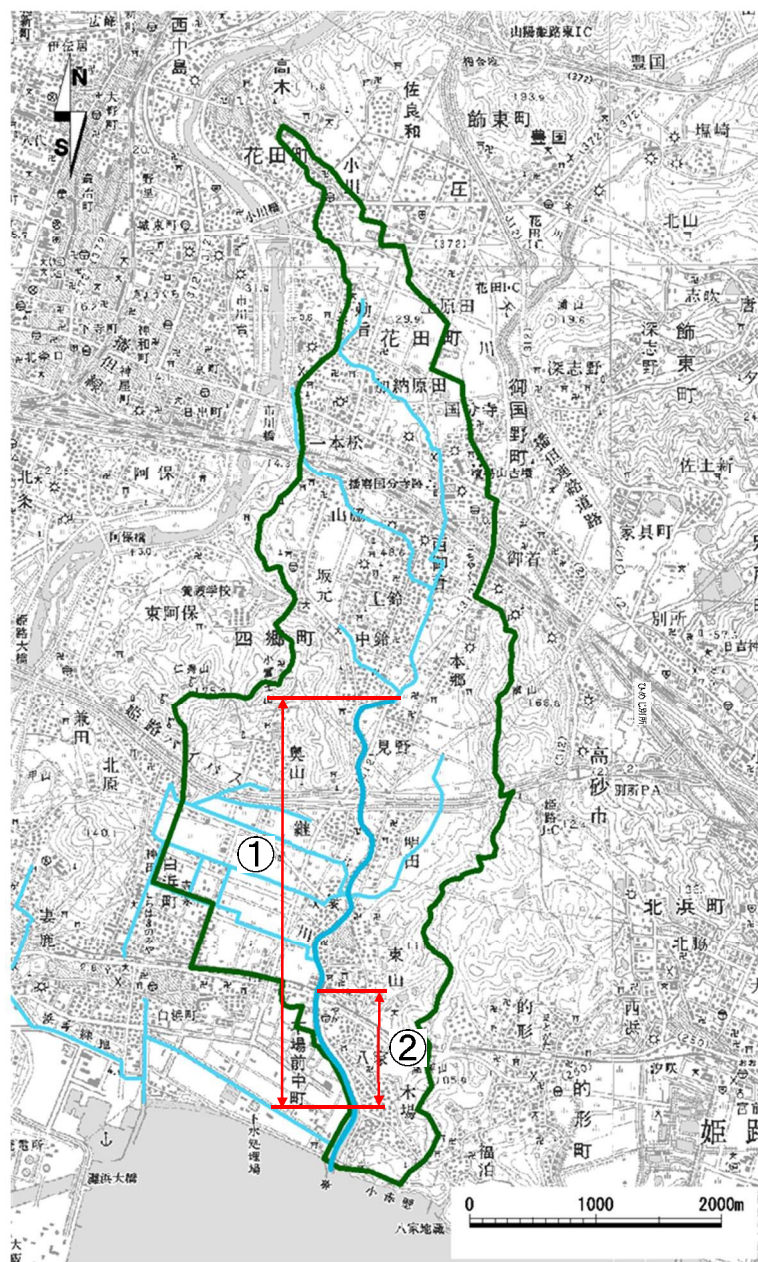
【八家川水系】

八家川では、昭和31年度から昭和41年にかけて局部改良事業を実施した。また、昭和43年度より播磨高潮対策事業を実施している。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
八家川	①局部改良事業	昭31～昭43	区間：河口付近～法河川上流端 延長：約3.5km 内容：築堤、掘削、護岸
	②播磨高潮対策事業	昭43～	区間：河口付近から約10kmの区間 延長：約10km 内容：防潮堤、三ツ橋改築

出典：八家川水系河川整備計画



八家川水系 治水事業位置図

【市川水系】

市川では、昭和 35 年度より都市基幹河川改修事業（旧中小河川改修事業）により姫路市飾磨区妻鹿地先から姫路市砥堀地先の区間を対象として、築堤、掘削等の一時改修を実施した。□

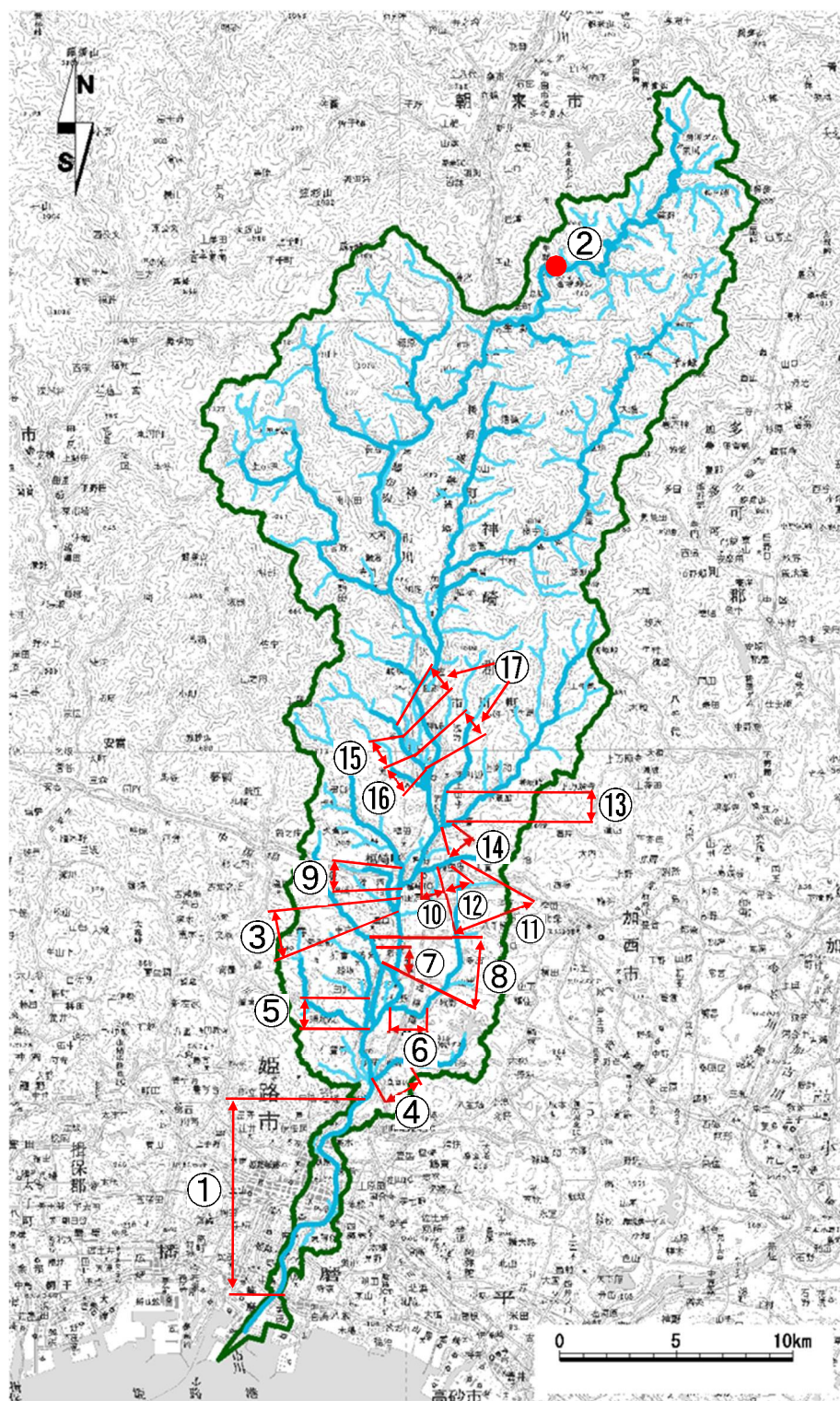
その後、昭和 50 年度から平成 10 年度にかけて、河川局部改良事業を実施した。また、昭和 41 年度より生野ダムの建設に着手して昭和 49 年度に完成した。

一次改修に引き続き同区間において治水安全度を向上させるため改修に着手した。平成 13 年度には河積阻害となっていた旧大庄屋井堰（固定堰）を撤去し、現在の潮止堰（ゴム堰）を完成する等、鋭意改修を進めている。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
市川	①都市基幹河川改修事業 （中小河川改修事業）	25～	区間：妻鹿地先～砥堀地先 延長：11.2km 内容：築堤、掘削
	②生野総合開発事業	30～33	治水容量：3.2 百万m ³ 利水容量：1.0 百万m ³
	③河川局部改良事業	34～35	延長：3.3km
神谷川	④河川災害復旧助成事業	2～3	延長：0.4km
矢田部川	⑤河川局部改良事業	32～33	延長：右岸 0.5m 左岸 0.4m
平田川	⑥河川局部改良事業	34～35	延長：0.3km
恒屋川	⑦河川激甚災害対策特別緊急事業	2～3	延長：0.4km
	⑧小規模河川改良事業	3～34	延長：2.3km
七種川	⑨小規模河川改良事業	30～35	延長：右岸 0.35m 左岸 0.4m
雲津川	⑩河川局部改良事業	33～34	延長：0.3km
	⑪小規模河川改良事業	34～35	延長：0.4m
	⑫小規模河川改良事業	32～34	延長：0.1km
小畑川	⑬小規模河川改良事業	34～35	延長：右岸 2.3m 左岸 0.4m
	⑭小規模河川改良事業	3～完了	延長：右岸 0.4km 左岸 1.1km
振古川	⑮河川局部改良事業	32～34	延長：0.4m
	⑯河川局部改良事業	34～35	延長：0.4m
	⑰総合流域防災事業	34～	延長：下流 0.4m 上流 0.4m

出典：市川水系河川整備基本方針



市川水系 治水事業位置図

【野田川水系】

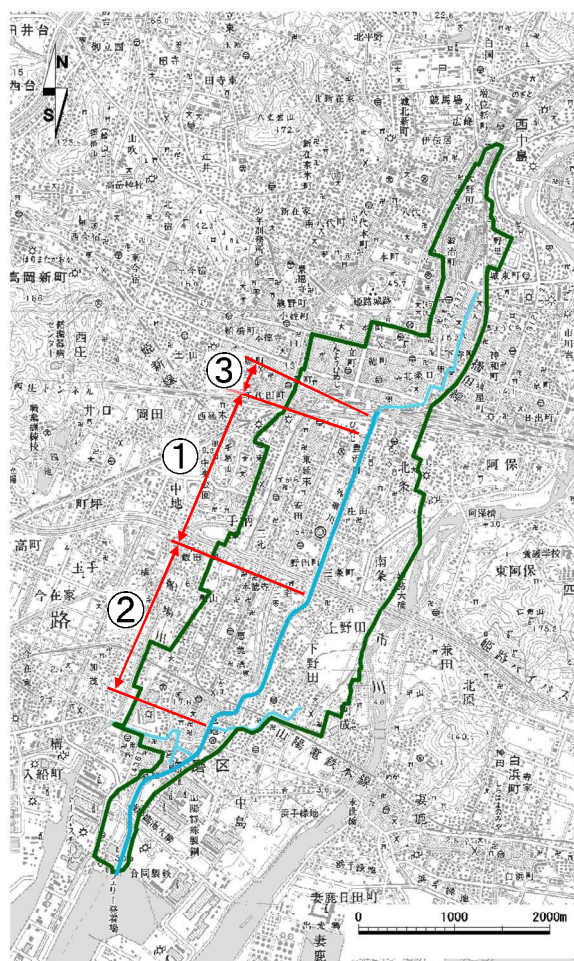
野田川では、昭和40年 〇月（台風 3 号）の高潮被害を契機に、昭和40年度より播磨高潮対策事業として、三ノ切橋下流の本格的な河川改修が進めてきた。平成10年度に野田川排水機場が完成し、ポンプは計画3台のうち 〇台が設置されている。〇

三ノ切橋上流の外堀川でも、同時期に都市小河川改修事業で改修が進めてきたが、昭和51年 〇月（台風10号）平成 〇年 〇月（台風10号）等の洪水では大きな被害を受けた。また、平成 〇年度から平成10年度にかけて、三国橋上流を対象に都市基盤改修事業を実施した。

飾磨防潮水門下流は、おおむね整備が完了している。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
野田川	①播磨高潮対策事業	〇〇〇〇	区間：三ノ切橋下流
外堀川	②都市小河川改修事業	〇〇〇〇	区間：三ノ切橋上流
	③都市基盤河川改修事業	〇〇〇〇	区間：三国橋上流



野田川水系 治水事業位置図

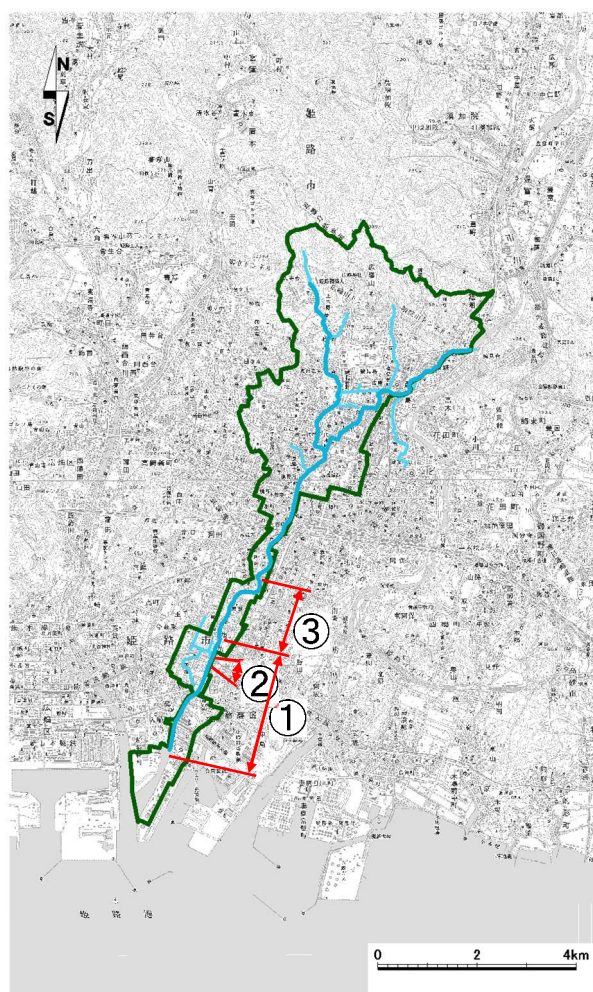
【船場川水系】

船場川では、昭和 43 年度から平成 4 年度にわたり、河口から構南橋の約 12.3 km の区間で高潮対策事業を実施した。このうち、山陽電鉄橋梁を含む 4 km の区間では、昭和 51 年度から昭和 54 年度にわたり激甚災害対策特別緊急事態を実施した。また昭和 54 年度より構南橋から生矢橋の約 1.3 km の区間では広域一般河川改修事業を実施している。近年ではあわせて上流域において、洪水調整施設の整備を進めている。□

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
船場川	①高潮対策事業	13～14	区間：河口から構南橋 延長：12.3 km
	②激甚災害対策特別緊急事業	51～54	区間：山陽電鉄橋梁 延長：4 km
	③都市一般河川改修事業	54～	区間：構南橋から生矢橋 延長：1.3 km

出典：船場川水系河川整備計画



船場川水系 治水事業位置図

【夢前川水系】

夢前川では、京見橋から書写橋までの約 1.5km の区間で、昭和 35 年度から昭和 40 年度にわたり夢前川整備事業を実施した。平成元年度からは、夢前町置本地先から宮置橋までの約 1.5km の区間で総合流域防災事業を実施している。

菅生川では、夢前川合流点から宮前橋までの約 1.5km の区間で、昭和 35 年度から昭和 40 年度にわたり夢前川整備事業を実施した。また、六角橋から新在家橋の約 3.5km 区間で、平成 2 年から平成 5 年にわたり、災害復旧助成事業を実施した。

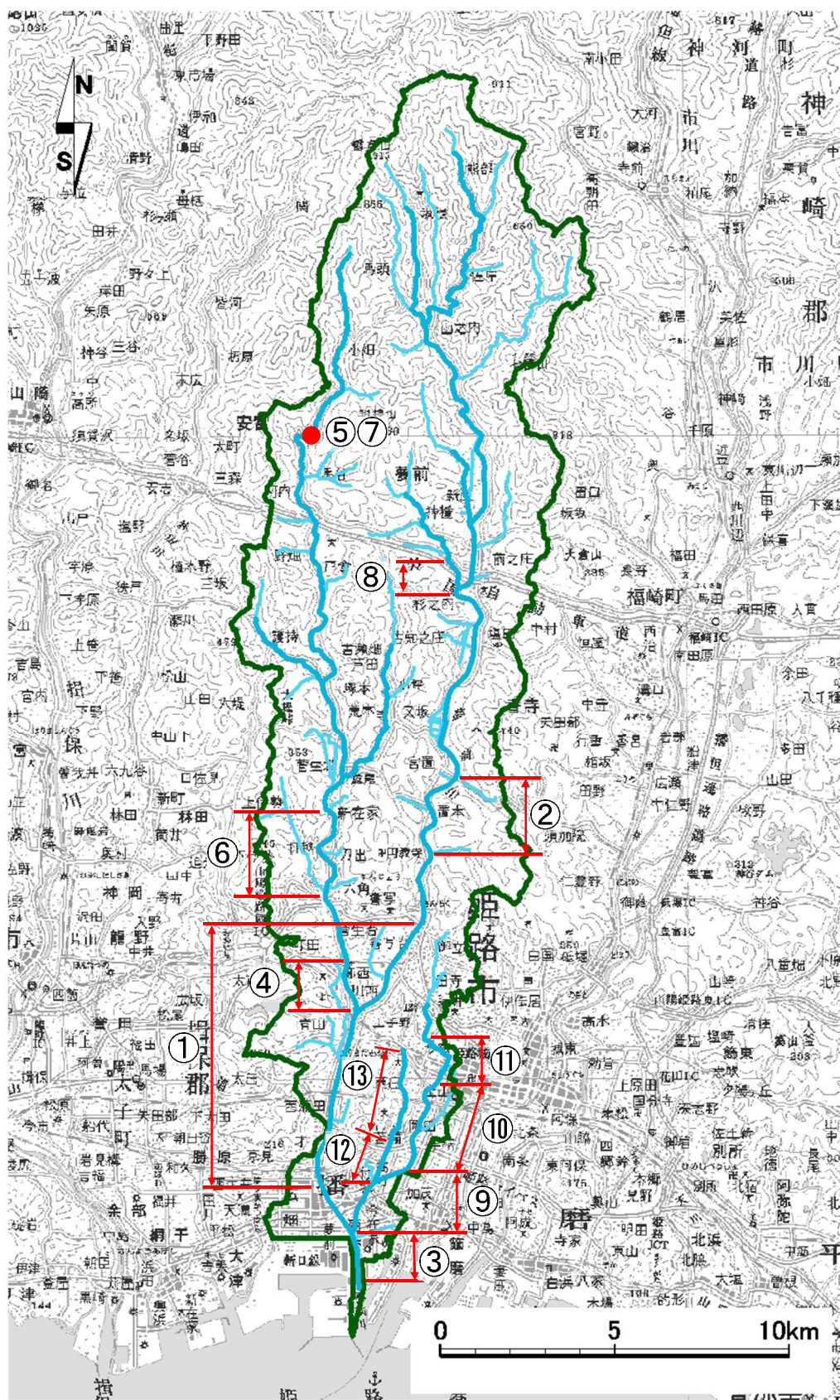
水尾川では、夢前川合流点から玉手橋までの 3.5km の区間で、昭和 43 年度から播磨高潮対策事業を実施している。昭和 54 年度から平成 2 年にわたり、上流の 1.5km 姫新線大井川橋梁上流までの 1.5km の区間で、小規模河川改修事業を実施した。さらに上流区間については、昭和 55 年度から平成 2 年度にわたり、姫路市による都市基盤河川改修事業を実施した。

大井川では、水尾川合流点から山陽本線までの 1.4km の区間で、昭和 43 年度から播磨高潮対策事業を実施している。さらに上流区間については、昭和 44 年度より、姫路市による都市基盤河川改修事業を実施し、現在も継続中である。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
夢前川	①夢前川整備事業	35～40	区間：京見橋から書写橋 延長：1.5km
	②総合流域防災事業	4～	区間：置本地先から宮置橋 延長：1.5km
	③播磨高潮対策事業	3～40	延長：1.5km
菅生川	④夢前川整備事業	35～40	区間：夢前川合流点から宮前橋 延長：1.5km
	⑤菅生治水ダム建設事業	44～53	
	⑥河川災害復旧助成事業	2～5	区間：六角橋から新在家橋 延長：3.5km
	⑦菅生ダム堰堤改良事業	4～22	
明神川	⑧河川局部改良事業	44～42	延長：1.5km
水尾川	⑨播磨高潮対策事業	43～	区間：水尾川合流点から玉手橋 延長：3.5km
	⑩都市基盤河川改修事業	35～23	延長：1.5km
	⑪小規模河川改良事業	5～40	区間：1.5km 姫新線大井川橋梁上流まで 延長：1.5km
大井川	⑫播磨高潮対策事業	43～	区間：水尾川合流点から山陽本線 延長：1.4km
	⑬都市基盤河川改修事業	44～	延長：1.4km

出典：夢前川水系河川整備計画検討委員会資料



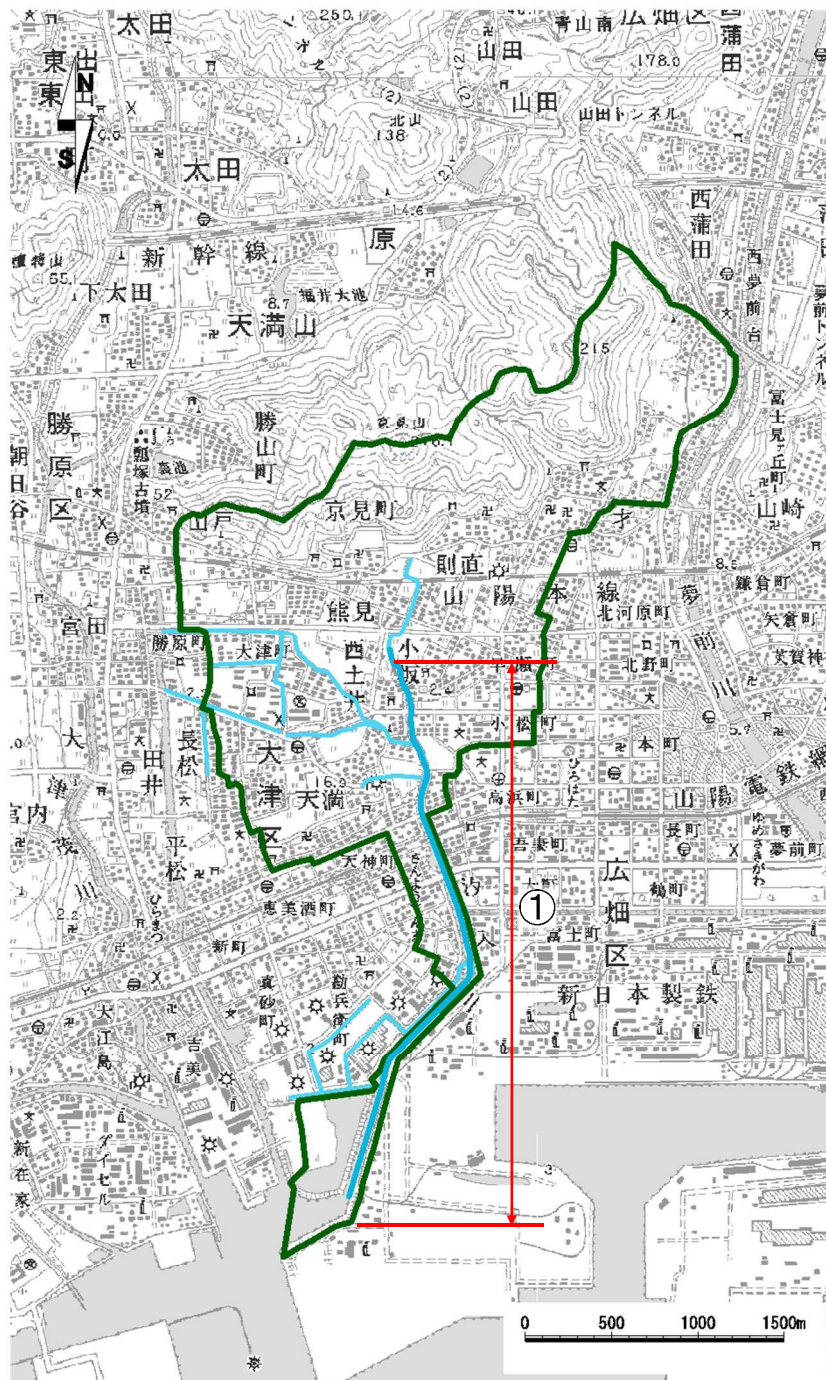
夢前川水系 治水事業位置図

【汐入川水系】

汐入川では、昭和 44 年度より播磨高潮対策事業を実施した。

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
汐入川	①播磨高潮対策事業	□□□～完	区間：河口から大津区新町 2 丁目 延長：□□3□5□m 内容：築堤、掘削、護岸、排水機 場



汐入川水系 治水事業位置図

【大津茂川水系】

大津茂川では、河口から向西橋までの約 13km の区間で、昭和 40 年度から昭和 50 年度にわたり、播磨高潮対策事業を実施した。また、向西橋から上太田橋までの約 4km の区間で、昭和 40 年度から昭和 55 年度にわたり、河川激甚災害対策特別緊急事業を、昭和 55 年度から昭和 59 年度にわたり、河川局部改良事業を実施した。さらに、上太田橋から長林橋までの約 13km の区間で、昭和 40 年度から昭和 59 年度にわたり災害復旧助成事業を実施した。

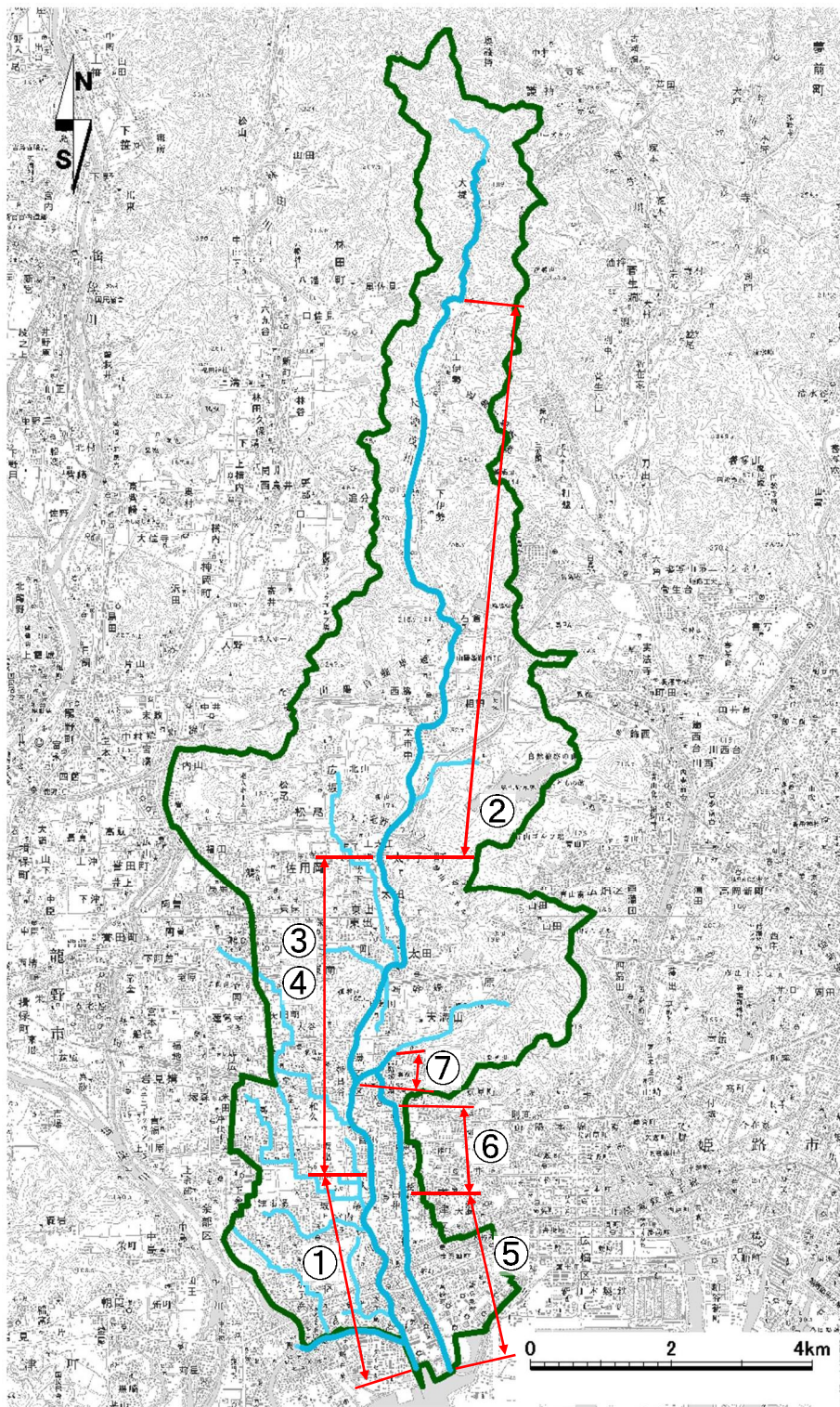
西汐入川では、昭和 40 年度から昭和 50 年度にわたり、河口から宮長橋までの約 10km の区間で、播磨高潮対策事業を実施した。また、昭和 55 年度から昭和 59 年度にわたり、宮長橋から下太田川合流点までの約 14km の区間で、姫路市による都市小河川改修事業を実施した。

西汐入川放水路では、昭和 40 年度から昭和 55 年度にわたり、河口から法定河川上流端までの約 10km の区間で、河川激甚災害対策特別緊急事業を実施した。□

治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
大津茂川	①播磨高潮対策事業	1965～1970	区間：河口から向西橋 延長：2.2km
	②災害復旧助成事業	1965～72	区間：上太田橋から長林橋 延長：3.3km
	③激甚災害対策特別緊急事業	1970～75	区間：向西橋から上太田橋 延長：4.0km
	④河川局部改良事業	75～80	区間：向西橋から上太田橋 延長：4.0km
西汐入川	⑤播磨高潮対策事業	1965～70	区間：河口から宮長橋 延長：2.35km
	⑥都市小河川改修事業	75～80	区間：宮長橋から下太田川合流点 延長：1.3km
西汐入川放水路	⑦激甚災害対策特別緊急事業	1970～75	区間：河口から法定河川上流端 延長：1.0km

出典：大津茂川水系河川整備基本方針（案）



大津茂川水系 治水事業位置図

② 洪水調節施設の整備状況

計画地域には、洪水調節施設として、生野ダム（市川）、菅生ダム（夢前川）、船場川調節施設（整備中）、辻井川〇準用河川〇雨水貯留施設がある。

【生野ダム】

生野ダムは、昭和 3〇年以來、姫路市を中心とする急激な人口増加と播磨工業整備特別地域の指定に伴う都市用水の需要に対応するとともに、市川沿いの地域を洪水から守ることを目的とした多目的ダムとして昭和 4〇年度に完成した。

□

位 置	朝来市生野町		
型 式	重力式コンクリートダム		
事業期間	1〇〇3 年～1〇〇2 年		
堤 高	5〇〇m	湛水面積	〇〇〇〇
堤頂長	22〇m	総貯水容量	1〇〇〇〇千m ³
堤体積	15〇千m ²	有効貯水容量	1〇〇〇〇千m ³
流域面積	〇〇〇m ²	着手〇竣工	1〇〇3〇〇2

出典：ダム便覧



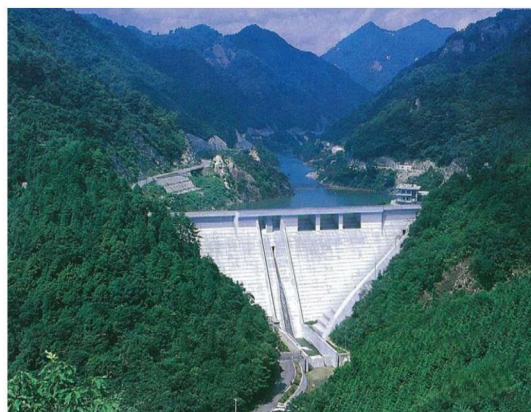
出典：兵庫県〇〇

【菅生ダム】

菅生ダムは、播磨工業地帯の背後地として急速に宅地化が進んだ菅生川沿川の洪水対策と菅生川の既得水利に対する水の補給等を目的に治水ダムとして、昭和 53 年度に完成した。また、ダム管理の省力化と洪水調節の確実性を向上させるため、ゲートレス化工事を行い、平成 〇3 年 1 月より自然調節ダムに改良した。

位 置	姫路市夢前町筋野		
型 式	重力式コンクリートダム		
事業期間	1〇〇〇年～1〇〇〇年		
堤 高	55〇〇m	湛水面積	13〇〇
堤頂長	15〇m	総貯水容量	1〇3〇千m ³
堤体積	〇〇千m ²	有効貯水容量	1〇〇〇千m ³
流域面積	〇〇〇〇m ²	着手〇竣工 ※堰堤改良事業	1〇〇〇〇〇〇〇〇 ※2〇〇3〇〇〇〇

出典：ダム便覧



出典：兵庫県〇〇